



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

長井ロータリークラブ会長	大山友規憲	第2800地区ガバナー	大久保章宏
幹事	土屋茂樹	第6ブロックガバナー補佐	味田琢哉
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	URL	http://www.nagai-rc.jp
E-mail	info@nagai-rc.jp	会報委員	塚田弘一 寒河江良一 横澤寿彦

【9月・特別月間】基本的教育と識字率向上月間

例会報告 No.8 (通算 第2798回) 2019年(令和元年)9月3日(火)号

■ロータリーソング : 国歌

■ゲスト紹介 :

長井市市史編纂専門員
高井 耕次様



■会長の時間(挨拶・報告): 大山友規憲会長

私は戦国時代に興味があり、当時の長井はどうだったか等、本日の卓話が楽しみです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

先週の土曜日に、天童での「会員増強・危機管理セミナー」にエレクトと幹事と青少年担当委員長の村田会員と出席。今年の課題でもある会員増強について、前年度は酒井PGの講演が印象的で、「会員拡大は義理と人情と何とやら」っていう感じでしたが、今年度はパネルディスカッション形式で、パネラーより体験談を聞きながら会場内の人にも意見を求める形で進行。

特に印象に残ったのが、大久保Gの「会員増強は会員みんなでやるべきである」でした。未だに新入会員が入っていない状況で、この言葉を胸に皆様と共に会員増強に進んでいければと思います。余談ですが、次年度はこれを受けて会員1人が1人増強して倍增計画を立てると言っていました。どんな計画が上がるのか戦々恐々とした所です。今日もよろしくお願いいたします。



■幹事報告: 土屋茂樹幹事

1. 地区大会案内: 10月20日(日) 登録 8:30~ 山形市市民会館 パレスグランデール
(パンフ訂正 第3回本会議 14:45→14:30 会員懇親のタベ 18:00→17:30)
2. 第7回理事会開催: 9月10日(火) 午前11:30より 場所 タス1F 会議室
3. 公益財団法人米山梅吉記念館の館報が届きました。(回覧)
4. 第2800地区2018-2019年度 RYLA のビデオデータ届きました。(希望者は申し出)



■委員会報告 :

- ロータリー財団・米山記念奨学会委員会 : 手塚典雄委員
(BOX 状況報告) 寄付ありがとうございます。
財団BOX 7月 那須 修会員 横澤寿彦会員
米山BOX 7月 井上晴雄会員 那須 修会員 横澤寿彦会員
8月 井上晴雄会員 小笠原信吾会員

それぞれの目標に向けよろしくお願いいたします。



○ 雑誌広報・IT委員会 : 齋藤圭央委員長
ロータリーの友9月号紹介



■ニコニコBOX : 寒河江良一委員
大山友規憲会長 市史編纂専門員高井耕次様を歓迎して
塚田弘一会員 市史の原稿遅れてご迷惑をおかけしています。
高井先生のご理解に感謝しています。
齋藤喜内会員 市史編纂専門員高井耕次様を歓迎して



■表彰(9月): 小笠原信吾委員長
奥様誕生日 — 栗田正彦会員(7日) 村田 剛会員(20日)
ご本人誕生日— 栗田正彦会員(15日) 寒河江良一会員(18日)
結婚記念日 — 横澤茂会員(30日)
在籍年数(8月) — 齋藤慎治会員(36年)



おめでとう
ございます。



(ゲスト卓話)

古文書でわかる長井の戦国時代 —旧家に残る由緒書を中心に—

長井市市史編纂専門員 高井 耕次様

本日は、「古文書でわかる長井の戦国時代—旧家に残る由緒書を中心に—」ということで、報告させていただきます。戦国時代と言いますと、室町時代後期で戦乱の世に明け暮れて群雄割拠した時代、1460年頃の応仁の乱から織田信長が室町幕府を倒した約100年間のことを中心としたいと思います。今から500年も昔のことになりますので、なかなか史料が残っていません。今回は江戸時代、近世に書かれた由緒書から見えてくる中世、戦国時代をイメージしてみたいと思います。立場上、由緒書を目にする機会がありましたので、関連情報という形でお話いたしますが、あくまでも情報提供です。スライドを使っての発表です。気軽にお聞きいただけたらと存じます。

(以下、資料抜粋掲載)



令和元年度 長井ロータリークラブ例会 9月3日(火)

古文書でわかる長井の戦国時代 —旧家に残る由緒書を中心に—



仙道小絵図部分
室町時代
仙台市博物館

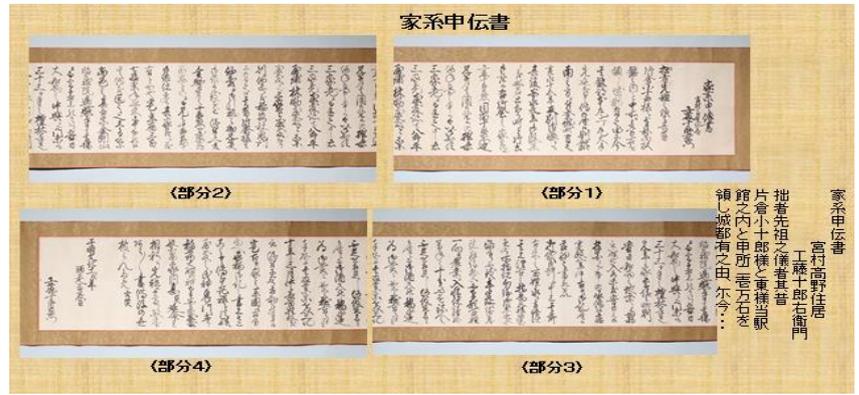


長井の「歴史や文化」を伝え、つなげたい
○市民の皆様は自信と誇りに思える「歴史や文化」を伝えたい。
○長井の風土で生きた先人の知恵や努力を知り、未来につなげたい。 熱き心で

市史編纂専門員 高井 耕次

この絵図。「仙道小絵図」です。伊達時代の唯一の絵図だそうです。米沢は橙で染まっていますから米沢を居城と定めた伊達晴宗から輝宗、孫の独眼竜政宗の時代でしょうか。長井は白川と野川、松川(最上川)に囲まれた場所に、「宮」と表されています。

巻物仕立ての「家系申伝書」です。作成した理由は、「長百姓」という村役を仰せつかったので工藤家の由緒を書き上げた、と書かれています。貴重なもので、8月1日からの文化財保護協会の「我が家の宝物展」でも飾らせていただきます。



書かれている内容をおよそ4つに分けてみる

- 1 片倉小十郎様と申される方がこの駅の「館の内」という所に一万石を領し、城郭があった。本丸、二の丸、大手先までもあった、と伝わる。館南の方には「登城町」あり。
- 2 片倉家の三家老屋敷があり、八郎平屋敷、林助屋敷と工藤家でいずれも稲荷神社が鬼門にあたる場所にある。工藤家には高野稲荷と呼ばれる稲荷神社がある。
- 3 その片倉家家臣に「工藤十郎左衛門」「工藤十郎右衛門」の兄弟がいて、仙台へ引き移る時にお供するように命じられたが、武士道を好まなかった先祖の十郎右衛門がこの地に残り、兄の十郎左衛門がお供した。
- 4 家普請の時に、遍照寺の有日上人(1396～1473)の地終りて加待祈禱を行い、堀割のための水上より入水の指図をいただいた。



工藤家 虎口



お墓がある 虎口 発掘予定

書かれている内容をおよそ、4つに分けてみました。正面に玄関が見えなくなっています。これを「虎口」が設けられている、と言います。

(1) 長井庄宮村片倉館南の大手に居住す

江戸時代、白石城主となった片倉家に残る『片倉代々記』(貞享3年作成1686、昭和46年発行)には、片倉小十郎景綱や子の重綱(長)も「下長井の庄宮村に生る」となっていて、本家高野の工藤家についても記載されている。天正17年(1589)6月5日に行われた米沢の伊達政宗軍対会津の盛名義広軍の合戦、猪(す)り上原の戦いで、工藤助解由が「約しき増に於いて節き討死す」とある。そのあとに討死した工藤助解由について触れている。

「右工藤助解由は宮村より来て供を孫め、其の子孫工藤孫左衛門は尔今長井庄宮村片倉館南の大手に居住すと云々」

工藤家は館の南の大手に居住している」と書かれています。とうことは、館の南に大手門があり、その近く、西側に工藤家があることがわかる。また、家系申伝書では工藤十郎左衛門が仙台へお供したと書かれているが、工藤助解由の存在については工藤家は伝わっていません。十郎左衛門は助解由が同一人物か、片倉家家臣に工藤家の子孫であるのかどうか、など興味が湧く。その後の工藤孫左衛門については、南陽市史編集資料第15号の小滝信太郎文書で紹介されている。(情報提供: 関係者の横浜市の工藤重芳氏)

「増子孫 宮村 孫左衛門 判監御 貞享四年八月廿七日」
貞享4年8月(1687)に増子代官扱いの荷物を証明する判監「宮村孫左衛門」と出てくる。



(片倉小十郎景綱系文書)



白石城主の片倉家に残る「片倉代々記」という文書に工藤家が紹介されています。

■ 出席報告： 遠藤伴明委員長

- ・ 本日の会員数 25 名、全出席数 22 名で出席率は 88.00 %です。
- ・ 前々回(8月20日分)の出席率は 88.46%に確定します。(尚、先週の出席率は補正を加え 84.00%です。)



8/31

一会員増強・危機管理セミナー
(パネルディスカッション)

